



[公財] 日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2014年 7月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

公益財団法人日本太鼓財団 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:<http://www.nippon-taiko.or.jp> Email:info@nippon-taiko.or.jp

第18回日本太鼓チャリティコンサートを開催

「特定非営利活動法人友情の架け橋音楽国際親善協会」を支援



(フィナーレ)

5月30日(金)、恒例となった日本太鼓チャリティコンサートを日本財団の助成事業として草月ホール(東京都港区)にて開催いたしました。今回は、音楽・文化・芸術の普及や、国際交流を通じた支援活動を行っている「特定非営利活動法人 友情の架け橋音楽国際親善協会」の事業活動を支援するために実施いたしました。

公演には各国の在日大使、政・官・財界各分野で活躍されている方をはじめ、約300名の方々にご出席いただき、会場に展示された「友情の架け橋」の活動を紹介するパネルが、多くのお客様の関心を集めました。

開演に先立ち、主催者を代表して塩見和子理事長の挨拶の後、共催者を代表して「友情の架け橋」三村京子理事長にご挨拶をいただきました。当財団加盟725団体から選ばれた4団体に加え、昨年11月に開催された「第10回日本太鼓シニアコンクール」で名人位に輝いた源通博氏(富山・水舞流越中八幡太鼓保存会)と、本年3月に開催された「第16回日本太鼓ジュニアコンクール」の優勝チームである「岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組」(福島)が出演し、6団体による演奏が行われました。

まず、「山内勇人・富岳太鼓雷神組」(静岡)は昨年「富士山太鼓まつり一人打ちコンテスト」で最優秀賞を獲得した山内勇人氏と富岳太鼓のメンバーによる力強い大太鼓を披露しました。「真田勝鬨太鼓保存会」(長野)は戦国武将で有名な真田一族が戦で勝鬨をあげたときに打ち鳴らした太鼓を甲冑を身にまとい勇ましく表現しました。「大治太鼓保存会」(愛知)は、バチを手で回しながら演奏する「曲太鼓」と大江

戸助六流の粋な太鼓を融合した華麗な演奏でお客様を楽しませました。次の「住吉神社御神事太鼓保存会」(石川)は輪島市の住吉神社に伝わる神楽太鼓を、奇面をつけ演奏しました。照明を落とした舞台上に浮かび上がる面と響く太鼓の音に会場は惹き込まれていました。続いて、昨年のシニアコンクールで名人位を獲得した源通博氏(富山)がベテランの味を披露し、水が舞うような流麗な演奏でお客様を楽しませました。最後は「岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組」(福島)の演奏です。第16回日本太鼓ジュニアコンクールにおいて東北で初めて優勝に輝いた子供たちが、課題曲「黎明」と自由曲「安積山」を披露しました。予選455チーム、4,803名(ブラジル・台湾含む)から選ばれた55チームの激戦を勝ち抜いた演奏にお客様から惜しめない拍手が贈られました。

フィナーレは、出演者全員が舞台上上がり、塩見理事長の音頭でお客様とともに恒例の手締めで幕を閉めました。

コンサート終了後には、帰路に着くお客様のために全団体が通路に並び、会場出口では「岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組」の送り太鼓でお見送りしました。観客の皆様は、「太鼓に元気をもらった」「感動した!」と喜んでおられました。

皆様のご協力により993,000円の募金が集まり、全額を「友情の架け橋」にお渡しいたしました。音楽を通して国際感覚や相互理解を深め、次世代の育成事業や、豊かな社会への寄与を目的とした活動に大切に役立てていきたいとのことでした。

ご来場頂いた皆様並びに出演者の方々に心より感謝申し上げます。



(レセプション風景)

*「友情の架け橋」よりご寄稿いただきました。

特定非営利活動法人 友情の架け橋音楽国際親善協会 理事長 三村 京子

この度は、第18回日本太鼓チャリティコンサートの共催と支援先に「特定非営利活動法人 友情の架け橋音楽国際親善協会」を選んでいただきましたこと、本当に嬉しく、心より感謝申し上げます。

当団体は文化・芸術の国際交流の普及活動を目的に、音楽コンサート事業、子どものための音楽絵画教室事業、日本の伝統文化・芸術を支援し、日本と外国との相互理解と豊かな社会の実現に寄与することを目的に設立されました。

日本と近隣諸国の子ども達に「クラシック音楽体感絵画教室」を始めとする教育活動としてユネスコ協会や国連大学と連携し、音楽を通して国際感覚や相互理解を深めてもらい、次世代の育成を支援しています。また、世界で活躍している音楽家と将来音楽家を目指す青少年との交流会も開催しております。今後とも国際交流の普及、子供たちの教育支援、日本の伝統文化・芸術の支援活動を継続して参る所存です。

本太鼓チャリティコンサートは、圧巻の演奏で聴衆全員に感動と力を与えて下さいました。大太鼓、桶胴太鼓、締太鼓などを巧みに使い、神聖で幽遠な神楽、勇ましい出陣演奏、伝統技と舞台芸術を迫及した各優勝チーム。各チームの特色が絶妙に表れていたことが魅力的でした。大太鼓を前に一人打ちするジャパニーズ・マッスル、目にも留まらない速さのパチさばき、熟練シニアの巧みな技、そして真っ直ぐでエネルギー弾けるジュニア演奏、その全てを揃えた舞台は見事で聴衆を虜にしました。ご来場いただいた国内外の支援者や弊団体のボランティアの方々からは感激の声を沢山いただきました。

当日の募金総額は993,000円となりました。皆様の温かいお気持ちに心が熱くなりました。いただいたご寄付は、今後の活動に大切に使用させていただきます。

とても素晴らしい演奏を見せて下さいました演奏者の皆様、このチャリティコンサートを開催して下さいました日本太鼓財団の会長、理事長様を始め、役員の方々、そして日本財団、日本音楽財団の方々に、厚く御礼申し上げます。



(三村理事長の挨拶)



(山内勇人・富岳太鼓雷神組・静岡)



(源通博・水舞流越中八幡太鼓保存会・富山)



(岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組・福島)

< 出演団体 >

1. 山内勇人・富岳太鼓雷神組(静岡)
2. 真田勝鬨太鼓保存会(長野)
3. 大治太鼓保存会(愛知)
4. 住吉神社御神事太鼓保存会(石川)
5. 源通博・水舞流越中八幡太鼓保存会(富山)
*第10回シニアコンクール名人位
6. 岩代国郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)
*第16回ジュニアコンクール優勝チーム

*「真田勝鬨太鼓保存会」、「大治太鼓保存会」、「住吉神社御神事太鼓保存会」よりご寄稿いただきました。

真田勝鬨太鼓保存会 代表 海沼 和幸

この度は第18回日本太鼓チャリティコンサートに出演させていただきありがとうございました。チャリティコンサートということで、我々の演奏が少しでも支援に繋り、お役立ち出来ることを願っています。

真田勝鬨太鼓は、真田家の祖先が戦で勝利を挙げた際に太鼓を打ち鳴らしたことから始まり、それが伝承され、現在に至ります。コンサートでは武者姿に身を包み、戦に勝利した時の喜びを時には高く、時には低く、太鼓を力強く打ち鳴らし表現致しました。観客の皆様には戦の様子を感じとって頂き、体だけでなく心にも響く太鼓となっていれば幸いです。

来年の平成27年3月は長野県長野市の善光寺御開帳が行われます。真田勝鬨太鼓は善光寺と大変ゆかりのある太鼓で、御開帳では毎回松代藩から回向柱と共に太鼓が奉納される慣わしです。今回お越しになれなかった皆様も、是非この機会に足を運んで頂き、真田勝鬨太鼓の演奏を聞いて頂けたらと思います。

この度の出演では沢山のお客様から暖かい拍手を頂戴しました。最後になりますが、大変貴重なコンサートに出演させていただき、日本太鼓財団の皆様にご心より御礼申し上げます。



大治太鼓保存会 若山 和之

まず、この度は第18回日本太鼓チャリティコンサートに参加させていただき誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。そして、このような素晴らしいステージにて全国でも名高い共演者の方々に囲まれ演奏出来た事を、大変嬉しく思っております。

この日の演奏に向けて万全の準備を整えてまいりましたが、いざ本番前になるとやはりメンバー皆、固くなっておりました。しかし演奏が始まると真摯な姿勢で自分達の演奏を観て聞いて感じて下さる素晴らしいお客様に、私達も体が軽くなり自分達らしい演奏が出来たと思います。

終演後のお見送り時にも、沢山のお声を掛けていただきお褒めのお言葉や、細やかなご感想をいただき、会場の皆様に尾張の伝統芸能を広く知っていただけた事が喜ばしく、そして何よりこの様な経験はこれからの私達の活動に、必ず大きな力と自信になっていくと思えます。心・技・体共にまだまだ未熟な団体ではありますが、これからも精進いたします。

最後に、楽器搬入や舞台進行・宿舍手配等、沢山のお力添えをいただいた、日本太鼓財団の皆様をはじめ東京都支部の皆様、本当にありがとうございました。



住吉神社御神事太鼓保存会 代表 大江 正明

この度は日本津々浦々、太鼓団体がある中で我が住吉神社御神事太鼓保存会を選抜していただき、大変光栄に思います。同時に、この日本太鼓チャリティコンサートに参加し、太鼓の魅力を伝える機会を与えて頂いたことに深く感謝いたします。

自分たちはいつでも一打入魂、鼓心(こころ)で打ちます。神様を呼び出し、奇面を付け自分の思いを打ち鳴らし、そのときの気持ちや表情が顔の表情になります。コンサートでは、自分たちの文化・歴史を感じてもらおうと演出にも気を配り、精一杯打ちました。客席ではお客様が身を乗り出して見てくれていました。そして温かい拍手、とてもうれしかったです。

演奏後、お客様をお見送りする際には力強いお言葉をかけていただき、コミュニケーションをとることもできました。

今回、このコンサートに参加できたことにより私達も各地方の太鼓団体を拝見して感銘し、改めて更に技術向上、見る人たちに感動を与えるようなパフォーマンスをしなければと再認識した次第です。また機会がありましたら、このような行事に参加できる日がくることを願っています。本当にありがとうございました。



* 3月のジュニアコンクールに来日したブラジル及び台湾チームより感想文をいただきました。

ブラジル「コロニアピニャール飛翔太鼓」

チーム代表 西川 修治

第16回日本太鼓ジュニアコンクールに出場し、全日程を無事終えることができ、代表者として、日本太鼓財団やブラジル太鼓協会の方々をはじめ、ご協力くださった全ての方に心から感謝御礼申し上げます。

どのチームに於いても同じかと思いますが、このジュニアコンクールへ出場するにあたり色々な心配や苦労などがありました。

飛翔太鼓の子供たちは、全てブラジル生まれの日系人で、2人を除いては初めての訪日でした。言葉は多少わかるものの、見るもの聞くもの、初めてのことばかりでした。我々が心配していたほどではなかったものの、太鼓財団の方々にご迷惑をおかけした点、申し訳ありませんでした。

日本では10日という短い期間ではありましたが、子供たちが伸び伸びと過ごすことができ、とても嬉しく思っております。これも、全員が日本語学校に通っていた成果かと思えます。

ブラジルを出発するまで、様々なことが起こり心配もしましたが、まだ日本でのジュニアコンクールも終わっていないのに、子供たちをみるにつけ彼らなりに努力している姿を見て誇らしく思っていました。同時に、この子達をどうしたら万全の状態で大会に望ませることが出来るか？そんなことを思いながら大会を待ちわびていた気がします。

ブラジル大会で優勝するのも大変だったと思いますが、私たち父兄はさほどその大変さを感じられませんでした。そのくらいこのチームは、子供たちの努力だけでやってきました。

子供達に、頑張れ！と言ってはみたものの、練習を見ていても、それがどれほどのレベルなのか、少しもわかってやれず、非常に悩みました。その点においては、JICAより太鼓指導員として、ブラジルにいらしてくださった蓑輪先生には随分と無理なお願いをしましたが、御協力して下さりとても助かりました。子供たちも蓑輪先生の教えを素直に受け入れ、練習に次ぐ練習、最後の最後まで練習に励みました。子供達と蓑輪先生の真剣さには心を打たれました。

そんな練習と努力と熱意があったからこそ、5位入賞という素晴らしい結果が生まれたのだらうと思えます。大会本番には、思いもよらないハプニングもございましたが、そんな状態の中、子供たちは、最後まであきらめず、慌てず練習に打ち込んできたことをもの見事に発揮できたと思えました。子供たちには、きつい体験でしたが結果良しで、一段と逞しくなったと思えました。

大会が終わってからの子供たちは、心から日本を満喫していました。これもひとえに、日本太鼓財団の方々のお気遣いの賜物だと思っています。ブラジ

ルではできないことを体験でき、子供たちは幸せ者です。そのご恩に報いる為にも、ブラジルに帰ってから日本語学校ではもちろんのこと、色々なことで活躍してくれることと思います。今回の様々な経験を糧にこれから先の長い人生において素晴らしい道を見つけられると確信しております。今後も子供達には、太鼓を通じてもっともっと大きな目標を持った人になってほしいです。

日本文化の一環として、和太鼓をブラジル日系社会へ取り入れてくださった先輩達の為にもこれからも、子供たちに太鼓を打ってほしいと思っています。太鼓を通じて、子供たちがいつの日か、日本とブラジルを繋ぐ大きな人間に成長してくればこんな喜ばしいことはありません。

日本太鼓財団の皆様、ブラジル太鼓協会の方々、本当にありがとうございました。

チームリーダー 市川 多加雄

5位！ブラジルは5位！！ヤッター！！

ブラジル代表として、最高の演奏をするため、僕たちはいっぱい練習をしました。演奏の準備にトラブルがありましたが、ステージでは良い発表ができました。両親に感謝の気持ちをこめて打ちました。

日本で初めて雪を見ました。すごくうれしかったです。台湾のチームと雪合戦をして、おもしろかったです。どっちが勝ったかは分かりませんが、そのおかげでみんな仲良くなりました。

台湾の人たちと友達になれたのは、うれしい事です。彼らは日本語を話せないのに、英語で話しました。とてもいい経験でした。

日本へ旅をするのは、僕の夢でした。日本は本当にすばらしいところでした。



(ジュニアコンクールでの演奏)



(雪に喜ぶブラジル飛翔太鼓の子供たち)



(ジュニアコンクールでの演奏)

台湾「天祥太鼓団」 チーム代表 陳麗玉

親愛なる仲間、お友達、こんにちは！私たちは皆様と同じく太鼓が大好きです！太鼓のお陰で皆と出会い、一緒に太鼓を演奏する事ができました。仲間、友達になることが出来ました。こんな素晴らしいチャンスをいただき、日本太鼓財団の皆様には心から御礼を申し上げます。

団員の皆は中学校、高校へ進学するにつれ学校の勉強が忙しくなりましたが万障を繰り上げ、14年間太鼓の練習を続けて来ました。台湾代表2回目となり、日本太鼓ジュニアコンクールの本戦へ参加することができました。

ジュニアコンクールに参加できるのも台湾太鼓協会を立ち上げた王妙涓理事長と江孜芸事務長がいつも台湾の子どもたちのために黙々と働くお陰です。ここで感謝を申し上げます。日本ででの経験を台湾で太鼓を愛する皆さんに伝え、台湾太鼓の未来の発展に努力したく、太鼓を活性化し、人々の心が太鼓の鼓動と一緒に動くようになればと思います。

どんな分野の学習もつまづく時期がある。うちの子ども達もそうです。日本太鼓財団が子ども達に日本での学びの機会を与えてくださり、日本全国代表チームの素晴らしさに触れ、子ども達は水を得た魚のようにそれぞれが今後の目標や責任感を明確に持ち、自信が持てるようになりました。太鼓演奏の感動が子ども達の「太鼓大好き！」の初心を甦らせてくれました。今回はまた深みある太鼓演奏に心打たれて、太鼓は打つ、見るだけではなく、心の底まで響く深いものであるということがわかりました。演奏者達の表現したいことは夢、人生だけではなく、太鼓を愛する初心に帰って、全力投入、一気呵成、臨場の震撼！感動！衝撃！言葉では表せない情感…きっと演奏者は皆、太鼓を愛する心で十分演奏できたと思います。多くの団体を鑑賞し、それぞれの打法、技術に夢中になりました。

塩見理事長を始め、指導して下さった長谷川先生、太鼓財団の皆様、大変お世話になりました。ここよりお礼を申し上げます。感謝！最感謝！

演奏者 陳怡蓁

一昨年、私たちは第14回日本太鼓ジュニアコンクールに特別出演しました。今回は前回と違って台湾を代表としてコンクールの本戦に出ます。気持ちには興奮と緊張が入り混じっていました。

太鼓練習の中ではどんどん自分を変えて行かなければなりません。技術向上のため、手の皮がむけたり、たこやまめが出来ても歯を食いしばって練習を続けます。色々な犠牲もあります。家族も私の太鼓練習に合わせて生活スタイルを変え、また、学校の勉強や宿題が多く、様々なストレスで息が詰まりそうになりました。その中で思ったのは「多くの仲間が調子が悪くて声が出ない日も、怪我をしても皆勤勉に練習している。皆舞台上で完璧な演奏をするため辛くても必死で練習している。自分がここで放棄してしまったら皆に申し訳ないし、今まで努力してきたのも泡になる。」そして仲間で励まし合い、また元気になります。

時々太鼓を打っていて将来の仕事に役立ちますか、と人に聞かれます。私はいつも太鼓を叩くだけではなく、チームワークの大切さや礼儀作法、仲間との信頼関係、自分に自信が持てると答えます。他の同級生より成長していると思います。

コンクールの本番直前、台湾での練習風景や仲間同士の励まし、両親や先生方の祈りと祝福の言葉が走馬灯の様に心に浮かびました。勝とうと思わないで、負けられないと思えば無限の力が湧いて出てきます。誰かが急かし速まれば仲間に影響が出て、今までの努力が報われない。その時思ったのは、「私たちは台湾から来た太鼓大好きな青少年です。日本で天祥太鼓らしい演奏を皆様に見て頂きたい、自分自身のためだけではなく、自分達をここまで支援してくれてくれた皆様に心から感謝の気持ちで演奏したい。」すると、自然と自信と感動が湧いて来て、舞台上で自信満々の演奏が出来ました。

舞台から降りた時自分は満足でした。成績発表で2位と聞いた時に皆で抱き合い、涙が溢れました。私達はやりとげたという嬉しい涙でした。苦勞に耐え抜いた私達の喜びは大きいです。努力と不屈の精神で夢は叶えられると確信しました。

私達だけではここまで来られませんでした。沢山の方々から支援や手助けを頂いたお陰で目標が達成出来たのです。私たちの青春は充実したものとなりました。心より感謝を申し上げます。

この度素晴らしい機会を下さった日本太鼓財団、そして、塩見理事長を始め、長谷川先生、大会の関係者方々には大変お世話になりました！厚くお礼を申し上げます。

各地で講習会を開催！

＜第50回日本太鼓全国講習会(山梨)＞

6月21・22日(土日)、山梨県支部主管の全国講習会を身延町の「身延町総合文化会館」にて実施いたしました。地元山梨県をはじめ、18都道府県から170名が受講しました。開会式では、塩見理事長、望月司身延町長、鈴木高吉身延町教育長、深沢登志夫支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり2日間の講習会が始まりました。今回の全国講習会では障害がある受講生3名が5級基本講座、1名が4級基本講座、1名が専門講座に挑戦し、全員合格しました。またアメリカ、アルゼンチン、オーストラリアの方も受講し、それぞれ日本太鼓の技を学んでいました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
 3級基本講座 松枝 明美
 4級基本講座 安江 信寿
 5級基本講座 渡辺 洋一

○専門講座講師
 尾張新次郎太鼓講座 安井 富
 助六太鼓講座 今泉 豊
 秩父屋台囃子講座 高野 右吉

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定	10名受験	8名合格
2級検定	29名受験	29名合格(14名認定)
3級検定	21名受験	21名合格
4級検定	34名受験	34名合格
5級検定	51名受験	51名合格



(尾張新次郎太鼓講座)

全国講習会を終えて

山梨県支部 事務局長 小野 智弘

梅雨真只中の6月21・22日の2日間にわたって第50回日本太鼓全国講習会が山梨県身延町において開催されました。かねてより山梨で全国講習会をとの声を聞く中で、適当な会場が見当たらず伸ばしに伸ばしてきました。幸い身延町では？との声が上がったのを契機に開催が決まりました。とはいえ果たして受講者が集まるだろうか。初めての全国講習会をうまく回していけるだろうか、様々な不安が頭をよぎってくるのです。短い申込期間でしたが、嬉しいことに予想をはるかに上回る方々から申し込みをいただきました。講習内検定の受講者を含めると170名の方々からの参加があり、その多さに支部役員は一様に驚いたと思います。こうなってみると逆に心配なのは、この地で太鼓が全て揃えられるのか、台は大丈夫かなど不安が増大して何とも複雑な心境になりました。

懸念しておりました、太鼓についても何とか数だけは確保することができましたが、専門講座の三部門において使用する台が用意できず、講師の先生方には誠に恐縮ですが持参していただきました。山梨県支部として不備のないようにと準備を進めてまいりましたが、不慣れなところで落ち度は多々あったかと思いますが、大過なくこの講習会の幕が引けたのではないかと考えております。

これもひとえに講師の先生方、受講生の皆さま方、塩見理事長はじめ財団の皆さま方、ほか多くの皆さま方、そして地元身延町には特段のご配慮を頂きましたご協力の賜物と心より感謝申し上げます。同じ太鼓の道を歩む者同士が一堂に会して絆を深め、和太鼓について学びあう真剣な姿に感動させられました。

案じていた天気も帰途につく頃は雲の切れ間から陽が差し、皆さん笑顔で帰られたことと信じております。私自身も心のなかに明るい陽が差し込んだ思いでいっぱいでした。皆さん本当にありがとうございました。

＜第60回日本太鼓支部講習会(道南)＞

6月28・29日(土日)、北海道道南支部主催による支部講習会が「室蘭岳山麓総合公園宿泊研修施設」で行われました。今回は北海道内から44名が参加しました。開会式では主催者代表として太田義高支部長、当財団大澤事務局長からそれぞれ歓迎と励ましの挨拶があり2日間の講習会が始まりました。受講生たちは初夏の北海道で熱心に講習を受けていました。

○基本講座講師 総合指導 古屋 邦夫
 5級基本講座 橋本 光司

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級基本講座 42名受験 42名合格



(5級基本講座)

各種会議を開催

<理事会>

6月10日(火)、第5回理事会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2013年度事業報告及び決算について

6月24日(火)、第6回理事会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 代表理事・副会長及び業務執行理事の選定について 2. 評議員会の開催について

<評議員会>

6月24日(火)、第5回評議員会が開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2013年度事業報告及び決算について

2. 任期満了に伴う理事の選任及び次期常勤理事の報酬について

<代議員会>

7月17日(木)に、第17回代議員会と第52回運営委員会・第51回技術委員会の合同会議が港区三田の笹川記念会館で開催されました。

代議員会には、46支部中、北海道道北、奈良、鳥取、広島、熊本、沖縄を除く40支部、一般会員、賛助会員、財団事務局に加え日本財団から当財団担当者と夢の貯金箱(自動販売機)の担当者が出席、総勢94名により開会しました。

冒頭、笹川良一、小口大八、池田庄作の3氏と津田正元会長、東日本大震災の犠牲者など故人に対し黙祷の後、議事に入りました。

議事、承認された事項は次の通りです。

1. 2013年度事業報告及び決算報告 2. 2014年度事業計画及び収支予算 3. その他

<運営委員会・技術委員会>

1. 2013年度事業報告及び決算報告 2. 2014年度事業計画及び収支予算 3. 日本太鼓資格認定制度について 公認指導員の認定について

栃木県の伏見文恵氏が講習内検定を経て3級公認指導員としての認定を承認されました。

4. その他

ジュニアコンクールに関する全九州太鼓連合からの要望について協議した結果、次の通り決定しました。全九州ジュニアコンクールにおいて、全国大会への出場権のない団体が10位以内に入賞した場合、その内の最上位団体を特別枠で全国大会への出場を認める。第10回大会となる来年度より適用することとした。なお、将来においては他の地域においても対応を検討していく。

助六太鼓保存会が囲碁大会のレセプションに演奏協力

5月8日(木)、世界で活躍する20歳以下の囲碁棋士を対象とした「グロービス杯世界囲碁U-20」のレセプションにおいて日本棋院からの出演依頼を受け、助六太鼓保存会が演奏を披露いたしました。

当日会場には世界各国から集まった若手の囲碁棋士を含む、約100名の観客が助六太鼓保存会の粋な演奏に見入っていました。



(助六太鼓保存会の演奏)

故小口大八先生の七回忌追悼公演が開催

6月14日(土)、2008年に交通事故で急逝された当財団副会長、御諏訪太鼓の宗家であられた小口大八先生の七回忌を迎え、記念の「～感謝～御諏訪太鼓宗家小口大八先生に捧げるコンサート」が長野県岡谷市のカノラホールにて行われました。当財団からは塩見理事長をはじめ浅野・長谷川両副会長、中西常務、大澤局長が出席しました。出演団体はアメリカと全国から27団体が集い、小口大八先生との思い出を共有し、故人を偲びました。

アメリカにて太鼓活動を続けている「サンフランシスコ太鼓道場」(代表:田中誠一氏)も演奏を披露し、小口大八先生が国境を越えて太鼓界の発展に尽力されていたことが伺われました。



(サンフランシスコ太鼓道場の演奏 写真:平松俊之氏)

第18回日本太鼓全国フェスティバルを開催!

梅雨の晴れ間となった7月6日(日)に岩手県の奥州市文化会館Zホールで日本太鼓全国フェスティバルが行われました。全国各地を代表する10チームによる演奏を約1,000名のお客様に楽しんでいただきました。詳細は、次号でご紹介致します。

第16回日本太鼓全国障害者大会

10月5日(日)大阪府の大東市立総合文化センターにて、第16回日本太鼓全国障害者大会が開催されます。皆様のご来場をお待ちしております。
期日2014年10月5日(日) 11:30開場12:00開演
17:00終演予定 入場無料 34団体出場(予定)

事務局だより

第51回日本太鼓全国講習会(福島県郡山市)

期日：2014年9月13・14日(土日)

主管：東北太鼓連合、日本太鼓財団福島県支部

会場：片平ふれあいセンター(郡山市片平町字町南7-2)

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 鈴木 孝喜

4級基本講座 渡辺徳太郎

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一

専門講座

御諏訪太鼓講座(単式複打法) 松枝 明美(長野県)

三ツ打太鼓講座(複式単打法) 河合 睦夫(富山県)

縮太鼓講座(単式単打法) 長谷川 義(大分県)

申込先：(公財)日本太鼓財団

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580

お問い合わせ先：日本太鼓財団福島県支部

担当：渡辺 勉

TEL 090-3984-3065

申込締切：9月1日(月)

第61回日本太鼓支部講習会(北海道岩見沢市)

期日：2014年9月27・28日(土日)

主催：日本太鼓財団北海道道西支部

会場：幌向総合コミュニティセンターほっとかん(岩見沢市)

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

3級基本講座 橋本 光司

4級基本講座 渡辺 洋一

お問い合わせ・申込先

日本太鼓財団北海道道西支部 副支部長 秦野 智徳

〒069-0372北海道岩見沢市幌向南2条3丁目315-18

TEL 080-1899-5761 FAX 0126-26-3939

申込締切：9月15日(月)

第62回日本太鼓支部講習会(北海道旭川市)

期日：2014年10月25・26日(土日)

主催：日本太鼓財団北海道道北支部

会場：旭川市北部住民センター(旭川市)

総合指導 古屋 邦夫(技術委員会委員長)

基本講座

4級基本講座 橋本 光司

5級基本講座(初心者講座) 渡辺 洋一

お問い合わせ・申込先

日本太鼓財団北海道道北支部 事務局長 五十嵐 恵

〒071-8134 旭川市末広4条4-1-20

TEL 090-2072-4643 FAX 0166-53-5992

申込締切：10月10日(金)

第11回日本太鼓シニアコンクール出演者募集!

日時：2014年11月23日(日) 開演14:00

*午前中に日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会が行われます。

会場：津幡町文化会館シグナス(石川県河北郡津幡町北中条3丁目1番地)

主催：(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、(一財)石川県芸術文化協会、北國新聞社

出場資格 ①個人が審査の対象となる場合は、大会当日満60歳以上であること。

②団体が審査の対象となる場合は、全員が大会当日満60歳以上であること。

演奏時間：5分以内 費用：全ての費用は出場者の自己負担(参加料は不要)

表彰：名人位(文部科学大臣賞下付予定)、準名人、特別賞など

申込先：(公財)日本太鼓財団 〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2

TEL 03-6229-5577 FAX 03-6229-5580 メール：info@nippon-taiko.or.jp

申込締切：9月30日(火)

助成金事業追加決定

今年度の助成金交付事業について、追加募集しておりましたが、6月5日(木)に開催されました第51回運営委員会において次の事業が決定いたしました。これをもって、予定の35事業が全て確定いたしました。なお、2015年度の助成金交付事業の申請締切は**本年12月末日**までとなりますので、期限内にお申込みください。

2014年7月20日(日) 宇品みなと太鼓15周年記念演奏会 (広島市南区民文化センター) 宇品みなと太鼓

2014年9月14日(日) 太鼓ふれあいフェスティバル (越前市いまだて芸術館) 福井県支部

2015年2月15日(日) 雷童太鼓大会 (白山市鶴来総合文化会館K1) 北陸三県太鼓協会